

島づくり計画の目的

1

島に住んでいる人の生活を どう維持・改善していくか

人口が減少して、高齢化が進む島で、島に住んでいる人の生活環境を維持・改善していくことがなくては、今後基本的な生活ができなくなる可能性が高まる。コミュニティとしてすべきことを実行していくことが計画の目的となる。

2

島外の人たちとの交流・支援を どう構築するか

島の人口減少や高齢化による衰退を止め、活性化するためには、島外者との交流・支援をなくしては困難であり、島在住者がどう構築していくことが計画の目的となる。

3

NPO法人石の里広島との 連携強化をどう図るか

島民が全員参加して利点をいかに活かして、今後の島内の取り組みを果たす過程で連携を図っていくことが計画の目的となる。

◆現在、コミュニティ活動として、各部が取り組んでいることともに、更に島づくりの目的を明確にして、計画を提起する。



生活の維持・改善

1 買物

生活物資の購入支援

小売業者が衰退する中で、島内での移動販売や宅配便等で購入することもできるが、船を利用して生活物資を購入することが主体となってきた、個々人の対応では生活物資を購入する困難性が高くなっている。

2 生活器具

補修等の支援

生活していく上で、電気製品などの補修等は欠かせないが、島の場合それに対応する業者も限られているため互助的な支援で対応されることもあるが、難しい事例もある。

3 見守り

要介助者に対する見守り

高齢等の理由により、見守りの必要性がある島民は増加しつつあるが、地域で現在できていることを維持することも今後難しくなる状況も考えられる。

4 防災

災害時の要支援者への対応

災害時の対応は、生命の危険性も含めており、その不安を低下させることが島で住み続けることができることになる。

5 救急

救急時の互助対応

傷病での救急対応等は緊急性を持っており、欠かせないが、現在できていることも難しくなりつつある。

6 健康維持

健康教育、介護予防研修

生活の維持には、健康が第一義的であり、個別では機会が少ない。

島外との交流・支援

1 情報提供

コミュニティ紙・ホームページの充実、情報誌等への掲載、島外希望者への情報提供システムの構築、伝統行事の紹介

情報提供には、情報の媒体を整備することが重要で、現在情報提供のために活用しているコミュニティ紙・ホームページについては、内容等について充実が常に必要である。また、情報誌等についても、積極的に活用することでの情報発信ができていない。島外希望者への情報提供については、自治会等が行っているが、統一されていない。島の良さについて発掘、発信が不十分となっている。

2 短期滞在

滞在先の斡旋

交流が深まることなどで、短期滞在したい要望に対して、宿の紹介は行っているが、短期居住の場合の情報提供が不十分な状況となっている。

3 交流事業

自然・歴史的資源の活用、受入

コミュニティの事業で、島外者の参加も案内しているが、島の資源の活用をより高める事業内容や受入体制の充実が図れる。

4 島内出身者との交流

交流会、情報提供、移住への啓発

島内出身者の島への関心は高く、移住等について希望している者もいるが、帰省時での交流はあるが、未だ情報提供等にも改善すべきことも多い。また、島内への移住についての啓発も必要である。